

第35代北部方面総監 岡部陸将着任

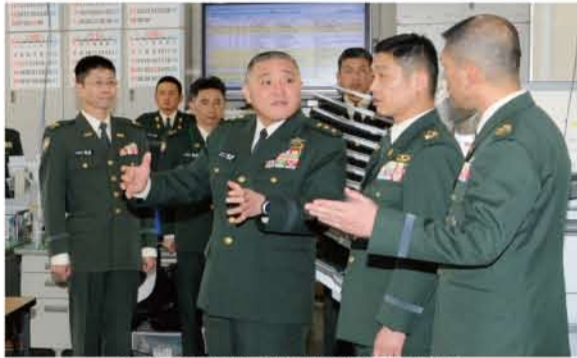


第716号
平成27年4月22日

陸上自衛隊
北部方面隊広報紙
発行：北部方面総監部広報室



着任式において着任の辞を述べる総監



総監部内を巡視し勤務場所を確認する総監



要望事項 「即応」「錬磨」「信頼」



総監による幹部教育

第35代北部方面総監岡部俊哉陸将の着任行事を實施した。

岡部総監は、真駒内駐屯地で殉職者慰霊碑に献

総監要望事項

即 応
錬 磨
信 頼

北部方面隊
ホームページ
<http://www.mod.go.jp/gsd/nae/index.html>

おかべ としや 陸将 岡部 俊哉

プロフィール

昭和34年2月生（福岡県出身）
防衛大学校卒（第25期生）

略歴

- 平成13年 8月 陸幕人事部補任課人事第1班長
- 平成15年 8月 第28普通科連隊長
- 平成17年 3月 陸幕防衛部運用課長
- 平成18年 3月 陸幕運用支援・情報部運用支援課長
- 平成18年 8月 第1空挺団長
- 平成20年 8月 西部方面総監部幕僚副長
- 平成22年 7月 陸幕教育訓練部長
- 平成24年 7月 第6師団長
- 平成25年 8月 防衛大学校幹事
- 平成26年 8月 統合幕僚副長

第34代北部方面総監 田邊陸将離任

3月27日、札幌駐屯地において、第34代北部方面総監田邊陸将の離任式が行われた。

田邊陸将は、平成25年8月着任以来、YS165をはじめ、SOSSEN（総合戦闘力演習）、ジブチ、南スーダンへの部隊派遣等数々の任務を完了した。離任式において「北部方面総監という重責のバトンを受けて、1年7ヵ月、皆さんと共に北の守りを固め、高強度下における総合戦闘力発揮の練成訓練を出来たことを誇りに思う。全隊員が厳し

い安全保障環境の中で陸自大改革を成し遂げ、真に戦える組織としてしっかりと使命感をもつて部隊を鍛えあげてもらいたい。そして、各人については、変化を感じ、学び、考え、教え、次の課題を乗り越え、日本の安全をしっかりと守ってもらいたい」と訓示し、総監部をはじめとした札幌駐屯地の隊員に見送られ、駐屯地を後にした。

1年7ヵ月、北部方面隊を指揮・統率してきた田邊陸将は3月30日付で



総監部庁舎を後にする田邊陸将

勇退し、東京都の危機管理監としての新たな人生をスタートさせた。

北部方面総監着任の辞（全文）

北部方面隊の指揮を岡部陸将が執る。

不安定な要因が増大する中、また大規模な災害の発生の可能性等、いつ、何が起ころうともおかしなく、初級幹部のイロハを叩き込まれた小隊長、イラク派遣を含み任務の完遂に直向きに鍛えられた連隊長、これらに次いでこの度は方面総監として三度目の北の防人の任を拝命した。この場に立っている名譽に對して大きな喜びを感じるとともに、その重責に改めて身を引き締まる思いを込めてお伝えしたい。

歴代総監をはじめ諸先輩方が指導され、心血を注いで築いてこられた歴史と伝統ある北部方面隊は、現在我が国が置かれている安全保障環境下、今迄以上に陸上自衛隊において最も精強・強靱な方面隊でなければならぬ。この認識のもと、着任にあたり三点を要望する。第一点は「即応」である。我が国周辺において、

自衛隊の練度、そして、向かう方向を決定付けたい。加えて、「事に臨んでは危険を顧みず、身をもって責務の完遂に努める」我々自衛隊員にとって、隊員相互の信頼は必要不可欠なものである。更には、陸上自衛隊で最も精強・強靱であるべき北部方面隊にとっては、上下左右の揺ぎ無い信頼はその任務の完遂の前提条件ともいえる。このため各人の修養・精進とともに各部隊の錬磨の必要性について自らも肝に銘じたい。

以上、即応「錬磨」「信頼」の三点を要望した。私自身、北部方面隊の隊員として常に諸官とともに在り、総監として常に先頭に立って、任務の完遂に邁進することを誓い、着任の辞とする。

花した後、札幌駐屯地に移動し、総監部庁舎前において儀仗を受け、着任式に臨んだ。

駐屯地体育館において行われた着任式では「歴代総監をはじめ諸先輩方が指導され、心血を注いで築いてこられた歴史と伝統ある北部方面隊は、現在我が国が置かれている安全保障環境下、今迄以上に陸上自衛隊において最も精強・強靱な方面隊でなければならぬ」と訓示し、北部方面隊の隊員に対し、「即応」「錬磨」「信頼」の三点を要望した。

着任式に引き続き総監部各部・官を巡視するとともに、4月14日には、総監部の幹部に対する教育を行い、企図の徹底を図った。

北部方面隊は、岡部総監の指揮・統率のもと、今迄以上に陸上自衛隊において最も精強・強靱な方面隊として、与えられた任務の完遂に向け27年度のスタートを切った。

北部方面隊の隊員一人一人が心身ともに即応性の向上に努めるとともに、部隊としての即応態勢の維持向上に更に努力すべく要望する。

二点目は、「錬磨」である。我々、北部方面隊は陸上自衛隊の基準杭である。我々の今の練度が陸上自衛隊の現在の練度そのものである。そして我々の錬磨が将来の陸上

この際、海上自衛隊、航空自衛隊、米軍等と協同（共同）連携し、統合戦力としても、充分発揮出来る様、着意してもらいたい。

三点目は、「信頼」である。我々の任務は、我々のみによって達成できるものではなく、広く国民の理解と協力、特に地域社会との連携、地域社会からの支援なくしては、達成は不可能である。このため、平素からあらゆる隊務を通じて、自治体関係機関をはじめとする地域社会との連携強化を更に推し進め、厚い信頼

日米同盟における相互信頼を深化

在日米陸軍司令官ブーザー陸軍少将来監

北部方面隊は4月16日、在日米陸軍司令官ブーザー陸軍少将の来訪を受けた。ブーザー司令官が、北部方面隊を来訪するのは5度目となり、今回は、岡部新総監への表敬が目的であった。

ブーザー司令官は、総監部へ到着後、総監を表敬し、総監の着任に敬意を表すとともに、お互いにギフト交換を行い、固い握手を交わした。その後、第7特科連隊長南川一佐に対し、平成24年から平成26年までの間、陸軍訓練部訓練演習班長として「日米間の相互運用性、即応性、安全保障協力等を高めるプログラムを開発」した功績により米太平洋陸軍司令官から授与された米陸軍功績勲章を伝達した。

今回のブーザー司令官の訪問により、日米の強い絆と同盟の更なる強化が一層図られた。



ギフト交換



備仗隊を巡視する在日米陸軍司令官ブーザー少将



米陸軍功績勲章を受章した南川一佐



記念撮影

声高らかに宣誓！！

方面隊内に約1200名の新たな仲間が集う

一般曹候補生・自衛官候補生 道内各地で入隊式

北部方面隊は、4月4日、5日及び12日に、新隊員教育を担当する方面隊内の各部隊に入隊した第8期一般曹候補生及び自衛官候補生の入隊式を行った。

入隊式のおよそ1週間前に着隊した隊員達は、教官等の指導の下、短期間で敬礼や行進等の基本教練を体得し、この入隊式に臨んだ。

式では家族や知人、協力団体等の来賓及び各方面協力本部の関係者が見守る中、初々しくも堂々たる行進を披露し、同期一丸となり声高らかに宣誓し、陸上自衛官の第一歩をここに標した。

また、祝賀会食等においては、部隊ごと趣向を凝らした太鼓演奏や音楽隊による演奏を行い、新隊員を歓迎した。

今年度入隊した新隊員は、第2師団管内に約250名、第7師団管内に約250名、第5旅団管内に約150名、第11旅団管内に約150名、方面混成団第120教育大隊に男女合わせ約440名であり、この入隊行事を皮切りに、約3カ月の教育で陸上自衛官としての基礎を修得した後、方面隊内の各部隊において更に3カ月の特技教育を受け、それぞれの部隊に配置されることとなる。



第8期一般曹候補生課程前期（第120教育隊大隊：真駒内駐屯地）



第12施設隊（岩見沢駐屯地）



第120教育隊大隊 自衛官候補生（女子）（真駒内駐屯地）



第11普通科連隊（東千歳駐屯地）



第26普通科連隊（留萌駐屯地）



第28普通科連隊（函館駐屯地）



第27普通科連隊（釧路駐屯地）

人生に潤いを与える言葉

血肉身軀も、且つ泡影に帰す、
而るを況んや影外の影や。

〔菜根譚〕後集・12

ここで述べている『菜根譚』の内容は、仏教の無常観に基づく人生の儚さと巧名富貴の如き立身出世の空しさを述べています。即ち「人間の身体は、水の泡や物の影のような実に儚いもので、いずれは消えてなくなってしまうし、況（ま）してや巧名富貴（影のまたその影の如きもの）はいずれもない」というのです。

ここで思い出されるのは、今から約130年前にロシアの文豪・トルストイ（1828～1910）が書き残した作品『イワン・イリッチの死』（1886）です。主人公イワン・イリッチは、中央裁判所の判事として世の成功をひたすら追い求めるのですが、思わぬ事故をきっかけに不治の病の身になり死の淵に直面して、はじめて人生の深みに気付かされているのです。それは、世間的な成功を追い求めて、自己の本来の生き方を見失いつつある現代人への警鐘ではないでしょうか。

心の健康相談 メンタルヘルス・カウンセラー
根本 和雄



外来待合



病棟テイルーム



歯科室



病室



手術室



ナースステーション

自衛隊札幌病院は、3月26日、豊平駐屯地での60年の歴史に幕を下ろし、真駒内駐屯地に移駐を完了し、新たな歴史をスタートすることとなった。開院に先立っての新自衛隊札幌病院開院セレモニーでは、方面隊管内から北部方面総監、北海道防衛局長、各師団団長等、各指揮官、内局等から内局人事教育局衛生官、防衛医科大学校長、装備施設本部長、各病院長が列席した。

自衛隊札幌病院 真駒内駐屯地へ！ 盛大に開院セレモニーを開催



セレモニー後の記念撮影

席し、部外からも北海道医師会長、北海道厚生局長の列席を得て、盛大に行われた。病院長は来賓各位に対し深い感謝の言葉を述べた。式典後に行われた見学会では、参加者に対し、従来の病院としての機能のほか、外来増床要領や免震層強化された機能を紹介し、大規模災害発生時の拠点としても活用が期待される病院の概要を説明した。

自衛隊札幌病院長挨拶 陸将 千先 康二



平成27年3月26日、豊平駐屯地の自衛隊札幌病院（昭和30年開院）は60年の長い歴史に幕を下ろし、真駒内駐屯地へ移駐し新病院で新たな第一歩を踏み出すこととなりました。新病院は、免震構造・P C造・インフラ途絶対策など災害に強い拠点となり、有事は病床数を倍増できます。電子カルテを核として医療情報システムも導入しました。北部方面隊唯一の自衛隊病院・基幹病院として、活気に溢れ頼りになる病院の創造に邁進して参ります。

平成27年度 予備自衛官補採用試験実施!

帯広地本



緊張感あふれる試験会場



口述試験を受ける受験者

自衛隊帯広地方協力本部は、4月11日から12日の2日間、帯広・美幌・釧路の各駐屯地で平成27年度第1回目の予備自衛官補の採用試験を行いました。

各試験会場には、一般公募40名、技能公募2名の計42名が予備自衛官補として採用されることを目指し、筆記試験、口述試験等真剣な眼差しで受験していました。

受験者は、「是非予備自衛官補になって色々なことに挑戦したい」と答える等それぞれの目標を掲げ、試験に挑みました。

自衛隊帯広地方協力本部は、一人でも多くの受験者が予備自衛官補として採用されることを期待して、これからも実施される各種採用試験に向け更なる募集広報活動に努めて行きます。

艦艇・駐屯地見学に雇用企業主等が参加

札幌地本



史料館前のT4式戦車前で記念撮影

自衛隊札幌地方協力本部は、4月12日から13日の2日間、札幌地本管内の雇用企業主、援護協力者、学校教諭及び受験予定者に対し、海上自衛隊練習艦隊第1練習隊所属の練習艦「しまゆき」及び函館駐屯地の支援を得て、艦艇広報及び駐屯地見学を行いました。

12日は、函館港港町埠頭に停泊中の練習艦「しまゆき」を見学した。「しまゆき」の函館寄港は、練習艦隊の内地巡航によるもので普段はあまり公開されることの少ない練習艦とあって、参加者は興味津々の様子で乗員による説明を受けながら各種装備品に見入っていました。

13日は、函館駐屯地の広報史料館を訪れ、第28普通科連隊広報班から箱館戦争、第2次世界大戦及び第28普通科連隊の活動について懇切丁寧な説明を受け真剣な眼差しで聞き入るとともに館内の展示品を写真に収めるなどしていました。

参加者からは、「とても有意義な研修となりました」「見学の時間が短く感じました」などの声が聞かれ、参加者は満足した様子でした。

平成27年度自衛官募集広告作戦展開!

函館地本



駅前バス停に設置された自衛官募集広告

自衛隊函館地方協力本部は、平成27年度の自衛官募集重点施策として、管内の主要地域である函館市及び近郊をエリアとするケーブルテレビを利用して自衛官募集広告の放映を開始しました。

この広告は24時間放映されるもので昨年試験的に実施したところ採用試験時のアンケート結果にも効果が表れていたことから募集対象者の獲得に一定の効果が見込まれると判断し通年で実施することとしました。

また、現在行っているバス停広告も27年度からは4カ所から19カ所に増大し、特に高校生等が乗降する箇所を重点に増加しました。これにより多くの方がこの広告を目にすることで募集対象者の獲得を図り市街地広報と併せ色々なイベントに参加し募集目標の達成に向け27年度のスタートを切りました。

企業説明会に参加 ～自衛隊、自衛官の魅力を発信～

旭川地本



熱心に自衛隊の魅力を伝える広報官

自衛隊旭川地方協力本部は、3月18日、市内ホテルで行われた旭川市や旭川公共職業安定所などが主催した、企業説明会に参加しました。

説明会は、9月に就職活動が解禁となる高校2年生を対象として、上川管内の高校生約530人が参加し、旭川地本ブースには、昨年を上回る55名が説明会に訪れました。

ブースでは広報官が独自に作成したパンフレットを活用した広報を実施し学生とのコミュニケーションが活発に行われました。自衛隊ブースに来訪した高校生の中から「自衛官になりたい」「説明を受け自衛隊に対する興味が深まった」といった嬉しい声が聞かれました。

自衛隊旭川地方協力本部は今後も、同様の企業説明会に積極的に参加し、自衛隊、自衛官の魅力を多くの若者に広報し、自衛隊の真摯な姿を伝えていきます。

北部方面隊イベント情報 5月・6月

開催日	行事名	場所
5月23日(土)	春のコンサート	名寄駐屯地
5月30日(土)	第2師団音楽まつり	旭川市市民文化会館
5月31日(日)	第7師団創隊60周年・東千歳駐屯地創隊61周年記念行事 留萌駐屯地創隊62周年記念行事 鹿追駐屯地創隊58周年記念行事 名寄駐屯地創隊62周年記念行事 美幌駐屯地創隊38周年記念行事	東千歳駐屯地 留萌駐屯地 鹿追駐屯地 名寄駐屯地 美幌駐屯地
6月6日(土)	第11旅団創隊7周年・真駒内駐屯地開庁61周年記念行事 第5音楽隊第43回定期演奏会	真駒内駐屯地 帯広市市民文化ホール
6月7日(日)	第2師団創隊65周年及び旭川駐屯地開庁63周年記念行事	旭川駐屯地
6月14日(日)	丘珠駐屯地創隊62周年記念行事 遠軽駐屯地創隊64周年記念行事	丘珠駐屯地 遠軽駐屯地
6月20日(土)	第1特科団音楽隊「ユークラコンサート2015」	北ガス文化ホール
6月21日(日)	倶知安駐屯地創隊60周年記念行事 苗穂駐屯地創隊63周年記念行事 滝川駐屯地創隊60周年記念行事(20日市内パレード) 上富良野駐屯地創隊60周年記念行事	倶知安駐屯地 苗穂駐屯地 滝川駐屯地 上富良野駐屯地
6月27日(土)	第1特科団創隊・北千歳駐屯地開庁63周年記念行事	北千歳駐屯地
6月28日(日)	北部方面音楽隊第74回定期演奏会 島松駐屯地創隊63周年記念行事 別海駐屯地創隊50周年記念行事	札幌市教育文化会館 島松駐屯地 別海駐屯地

※行事は都合により延期または中止される場合があります。



北部方面隊ホームページ
<http://www.mod.go.jp/gsdf/nae/index.html>

北部方面隊

検索

「駐屯地給食の向上施策」 優秀部隊等総監表彰

方面隊は、3月16日、「平成26年度駐屯地給食の向上施策」における優秀部隊等に対し、総監表彰を実施した。

今年度は、各駐屯地管内者を対象とした給食満足度に対する意識調査と、各駐屯地糧食班が提出した書類の審査に基づき評価を行い、「献立・調理・配食」「給食委員会」「食環境」のカテゴリ別に「A・B・C」の格付けを付与するとともに、方面隊

の設定した喫食率の目標値に達した駐屯地全てに対し格付け「A」を付与し、最も多く格付け「A」を取得した駐屯地に優秀の褒賞状を、平成26年度の隊員意識調査結果を比較し、大きく向上した駐屯地に努力



受賞した各駐屯地業務隊と記念撮影

○褒賞状受賞部隊

- 大規模駐屯地グループ 名寄駐屯地業務隊
- 中規模駐屯地グループ 遠軽駐屯地業務隊
- 小規模駐屯地グループ 釧路駐屯地業務隊
- 支処・分屯地グループ 名寄駐屯地業務隊礼文管理班

○努力賞受賞部隊

- 北恵庭駐屯地業務隊
- 倶知安駐屯地業務隊

編集後記

4月は、企業や省庁の人事等が各地で行われ、多くの若者が新社会人としての第一歩を踏み出す季節です。この4月我々にも全国から多くの仲間が集い、ここ北海道の雄大な自然の中、陸上自衛官の卵として誕生し、その殻を破る日を期待されながら、日々成長を続けています。◆新人の頃は、上司、先輩の指導を受け、挑戦、失敗を繰り返して、その中で、仕事に対する姿勢、業務の進め方、根拠や規則を覚えると同時に礼儀作法も身に付けます。当時のことを思い出し、緊張したことも失敗した経験も今でも忘れられない方は多くいるのではないでしょうか。時が経ち経験を積むと人は初心を忘れ、今行っていることが正しいものと認識しがちになるものです。◆時代のニーズや文明の進化によって変化するものもあります。我々の任務の本質こそ不変ではありませんが、根拠や規則は多少なりとも変わっています。変えなければならぬこと、等に基づいた業務の進め方も完全に否定するものでもありませんが、根拠や規則が原点であること、を忘れてはいけません。◆新しい顔ぶれが加わり、新年度のスタートを切る、この時期を初めに戻り、原点に立ち返る良い機会にしてみませんか。また、新隊員の皆さんには、失敗を恐れず、果敢に挑む精神を養い、陸上自衛官としての基礎をしっかりと身に付けてもらう事を期待したいものです。